



2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
 コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・CFO
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 安藤 宏基
 (氏名) 矢野 崇
 配当支払開始予定日

TEL 03-3205-5111
 2022年11月29日

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	316,954	15.2	28,324	4.4	27,032	0.7	28,059	0.7	17,382	1.5
2022年3月期第2四半期	275,037	14.1	27,120	△14.8	26,836	△15.7	27,868	△13.3	17,122	△22.1

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	170.87	169.84
2022年3月期第2四半期	165.45	164.51

※既存事業コア営業利益について

当社は2022年3月期より既存事業コア営業利益を開示しております。既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益および非経常損益としての「その他収支」を控除した指標です。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	710,822	469,823	432,379	60.8
2022年3月期	683,423	444,590	407,660	59.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	70.00	—	60.00	130.00
2023年3月期	—	65.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	65.00	130.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の第2四半期末配当金には、普通配当60円00銭のほかに「カップヌードル発売50周年記念配当」10円00銭が含まれております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	595,000	4.4	52,000	4.9	47,000 ～49,500	0.8 ～6.2	31,000 ～33,000	△12.5 ～△6.8	303 ～322

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の連結業績予想については、既存事業コア営業利益の5～10%の範囲内で積極的な新規事業投資を行っていくため、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	104,222,300 株	2022年3月期	104,222,300 株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,875,626 株	2022年3月期	1,786,406 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	101,730,458 株	2022年3月期2Q	103,485,680 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(報告企業)	13
(作成の基礎)	13
(連結範囲及び持分法適用範囲の重要な変更)	13
(重要な会計方針)	13
(セグメント情報)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比15.2%増の3,169億54百万円となりました。利益面では、既存事業コア営業利益(注1)は前年同期比4.4%増の283億24百万円、営業利益は前年同期比0.7%増の270億32百万円、税引前四半期利益は前年同期比0.7%増の280億59百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比1.5%増の173億82百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益では前年同期比8.2%増の2,976億30百万円、既存事業コア営業利益は前年同期比1.3%減の267億79百万円となりました。(注2)

当社グループは、2030年に向けた「中長期成長戦略2030」に基づき、ビジョンの実現と持続的成長に向け、成長戦略テーマである①既存事業のキャッシュ創出力強化、②EARTH FOOD CHALLENGE 2030、③新規事業の推進に取り組んでおります。

(注1) 既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益および非経常損益としての「その他収支」を控除したものであり、中長期成長戦略上2022年3月期以降積極的かつ継続的な先行投資を予定する新規事業にかかる損益を分離し、その成長投資の基盤となる既存事業の実質的な成長を測定することを目的に採用している指標であります。

(注2) 2023年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	2022年3月期	2023年3月期	対前年同期	
	自 2021年4月1日 至 2021年9月30日	自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	金額	%
売上収益	275,037	316,954	41,917	15.2
既存事業コア営業利益	27,120	28,324	1,203	4.4
営業利益	26,836	27,032	196	0.7
税引前四半期利益	27,868	28,059	191	0.7
親会社の所有者に帰属する四半期利益	17,122	17,382	260	1.5

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、従来、「調整額」に含めて記載していた「新規事業」について、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

以下の前年同期比較は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類、袋めん類が売上を伸ばし、前年同期比で増収となりました。カップめん類では、昨年ご好評をいただいた「カップヌードル」の既存フレーバー同士を合体させた“間違いない味”の第2弾である「カップヌードル スーパー合体」シリーズが売上に大きく貢献したほか、“すべてが主役”のこだわり抜いた「最強どん兵衛」の売上も引き続き好調に推移し、前年同期比で増収となりました。袋めん類では、2022年7月に発売を再開した“そのままかじる用”に新開発された「0秒チキンラーメン」が売上に貢献しました。また、2022年9月にリニューアルし、“濃くてうまい”味わいを進化させた「日清これ絶対うまいやつ♪」シリーズも引き続き好調に推移し、前年同期比で増収となりました。カップライス類は、「日清カレーメシ」シリーズが引き続き好調で売上に貢献し増収となりました。

利益面では、売上の増加による利益の増加がありましたが、原材料価格の上昇等により前年同期並みの水準となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比3.4%増の1,018億62百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比1.9%減の150億85百万円、営業利益は、前年同期比2.4%減の150億51百万円となりました。

②明星食品

明星食品(株)の販売状況は、“全麵改良”をテーマに主要ブランドからプレミアム商品、バリュー商品まで品質を強化し、前年同期比で増収となりました。

カップめん類では、ラーメン2品を新発売した「明星 濃いぜ！一平ちゃんBIG」が貢献したほか、リニューアルした「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」も堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。

袋めん類では、「明星 チャルメラ」の「しょうゆラーメン」が堅調に推移しましたが、2022年6月に実施した価格改定等の影響を受け、前年同期比で減収となりました。

利益面では、売上の増加による利益の増加がありましたが、原材料価格の上昇等により前年同期比で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比3.1%増の192億71百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比18.6%減の13億84百万円、営業利益は、前年同期比18.3%減の14億円となりました。

③低温・飲料事業

チルド事業は、例年よりも気温が高い影響から冷しめん類が堅調に推移したほか、「日清の太麺焼そば」、「日清焼うどん」等の売上も伸長しました。一方、ラーメン群が販売減となり前年同期比で減収となりました。利益面では、販売減や原価率の上昇により前年同期比で減益となりました。

冷凍事業は、ラーメン類では「冷凍 日清ごくり。」、「冷凍 日清本麵」、パスタ類では「冷凍 日清スパ王プレミアム」の各シリーズの売上が堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。利益面では、原価率の上昇により前年同期比で減益となりました。

飲料事業は、日清ヨーク(株)の「ピルクル400」シリーズや「十勝のむヨーグルト」シリーズが好調に推移し、主力商品の価格改定の効果もあり、前年同期比で増収となりました。また利益面では、エネルギー費・原材料費の高騰がありましたが、増収により吸収し、前年同期比で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比1.5%増の415億89百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比31.1%減の17億15百万円、営業利益は、前年同期比41.9%減の15億56百万円となりました。

④菓子事業

菓子事業では、日清シスコ(株)はシリアルの販売の伸び悩みや原材料高騰等により、前年同期比で減収減益となりました。ぼんち(株)は「ピーナツあげ」や「辛子明太子大型揚せん」をはじめとした主力商品が好調に推移しましたが、原材料高騰等の影響により、前年同期比で増収減益となりました。また、(株)湖池屋においては新商品の「KOIKEYA The 海老」やリニューアルをした「スコーン」を中心に販売が拡大するとともに、順次実施している価格改定により、売上は前年同期比で増収となりました。利益面では原材料高騰や昨年8月から稼働した九州阿蘇工場の影響により前年同期比で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比1.2%増の352億9百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比41.9%減の12億62百万円、営業利益は、前年同期比43.4%減の12億64百万円となりました。

⑤米州地域

米州地域においては、既存商品の収益力向上に加え、新たな需要の創造に向けた付加価値商品の提案強化や導入推進に取り組んでおります。

売上については、インフレや資材価格高騰等に伴い価格改定を実施し、価格浸透を図りつつ各国の戦略を着実に実行しております。ブラジルでは積極的な営業・マーケティング施策の連動により主力商品「Nissin Lamén」や「CUP NOODLES」の販売好調に加え、新商品「U.F.O.」の販売開始も売上増に貢献しました。米国においても、引き続き高い即席めん需要が続く中、価格改定の実施・浸透や差別優位性を明確にした高価格帯商品の販売好調により、セグメント全体で増収となりました。

利益については、主要原材料の高騰がありましたが、価格改定による販売単価増の増収効果、高価格帯商品の販売食数増、為替影響等により増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比55.6%増の660億19百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比101.3%増の43億24百万円、営業利益は、前年同期比97.8%増の43億8百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比26.0%増の534億67百万円となり、コア営業利益は、前年同期比60.5%増の34億49百万円となりました。(注4)

⑥中国地域

中国地域においては、中国大陸での高付加価値商品市場が拡大しており、販売エリア拡大と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおります。また、2021年6月のカップヌードルのリニューアル実施後、販売量の拡大が進んでいます。売上については、価格改定実施後も中国大陸及び香港で出前一丁ブランド群などの即席めん販売ボリューム増により前年同期比で増収となりました。利益については、原材料費の高騰を価格改定効果及び販売ボリューム増による増収効果により吸収し前年同期比で増益となりました。なお、対円での現地通貨高についても、売上、利益ともにポジティブな影響となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比28.8%増の333億30百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比39.7%増の33億82百万円、営業利益は、前年同期比66.1%増の38億97百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比8.8%増の281億53百万円となり、コア営業利益は、前年同期比18.4%増の28億64百万円となりました。（注4）

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んだ「その他」の売上収益は、前年同期比43.3%増の196億71百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比0.3%増の28億70百万円、営業利益は、前年同期比10.3%減の27億47百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比31.7%増の180億76百万円となり、コア営業利益は、前年同期比5.0%減の27億17百万円となりました。（注4）

（注3）コア営業利益とは、営業利益から非経常損益としての「その他収支」を控除したものであります。

（注4）2023年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ273億98百万円増加し、7,108億22百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に非流動資産のその他の金融資産が317億92百万円、現金及び現金同等物が181億8百万円減少した一方、持分法で会計処理されている投資が528億19百万円、棚卸資産が119億88百万円、営業債権及びその他の債権が102億64百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ21億65百万円増加し、2,409億98百万円となりました。これは主に繰延税金負債が44億23百万円減少した一方、流動負債の借入金が54億53百万円増加したことによるものであります。

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ252億32百万円増加し、4,698億23百万円となりました。これは主に自己株式が97億65百万円増加（資本は減少）した一方、利益剰余金が338億96百万円増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の59.6%から60.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	102,005	83,896
営業債権及びその他の債権	89,600	99,864
棚卸資産	47,638	59,626
未収法人所得税	590	793
その他の金融資産	10,271	10,156
その他の流動資産	9,520	8,543
流動資産合計	259,626	262,880
非流動資産		
有形固定資産	260,506	264,140
のれん及び無形資産	12,205	12,084
投資不動産	7,307	7,272
持分法で会計処理されている投資	44,006	96,825
その他の金融資産	85,107	53,315
繰延税金資産	11,990	11,747
その他の非流動資産	2,674	2,556
非流動資産合計	423,797	447,942
資産合計	683,423	710,822

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	123,251	126,624
借入金	13,242	18,695
未払法人所得税	5,509	8,724
その他の金融負債	3,450	4,130
その他の流動負債	22,508	20,144
流動負債合計	167,962	178,320
非流動負債		
借入金	31,673	27,806
その他の金融負債	16,925	16,911
退職給付に係る負債	5,177	5,253
引当金	268	271
繰延税金負債	14,347	9,923
その他の非流動負債	2,478	2,511
非流動負債合計	70,870	62,678
負債合計	238,832	240,998
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	49,862	49,293
自己株式	△11,828	△21,594
その他の資本の構成要素	45,221	46,378
利益剰余金	299,281	333,178
親会社の所有者に帰属する持分合計	407,660	432,379
非支配持分	36,930	37,444
資本合計	444,590	469,823
負債及び資本合計	683,423	710,822

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	275,037	316,954
売上原価	179,107	212,250
売上総利益	95,929	104,703
販売費及び一般管理費	71,182	79,813
持分法による投資利益	1,692	1,948
その他の収益	912	857
その他の費用	516	663
営業利益	26,836	27,032
金融収益	1,299	1,651
金融費用	267	623
税引前四半期利益	27,868	28,059
法人所得税費用	9,328	9,241
四半期利益	18,539	18,817
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	17,122	17,382
非支配持分	1,417	1,435
四半期利益	18,539	18,817
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	165.45	170.87
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	164.51	169.84

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	142,579	167,691
売上原価	93,381	112,099
売上総利益	49,197	55,591
販売費及び一般管理費	36,324	42,732
持分法による投資利益	579	1,115
その他の収益	452	306
その他の費用	318	506
営業利益	13,587	13,775
金融収益	403	615
金融費用	125	322
税引前四半期利益	13,864	14,067
法人所得税費用	3,890	3,471
四半期利益	9,974	10,595
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	9,228	9,852
非支配持分	746	743
四半期利益	9,974	10,595
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	89.49	97.10
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	88.98	96.50

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	18,539	18,817
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	635	4,018
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△21	△104
純損益に振り替えられることのない項目合計	614	3,914
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融資産	4	—
キャッシュ・フロー・ヘッジ	19	149
在外営業活動体の換算差額	1,505	10,217
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	922	11,561
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,451	21,928
税引後その他の包括利益	3,065	25,842
四半期包括利益	21,605	44,660
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	20,008	40,888
非支配持分	1,596	3,771
四半期包括利益	21,605	44,660

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	9,974	10,595
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融資産	1,971	△860
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△6	△86
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,965	△947
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	18	62
在外営業活動体の換算差額	△467	2,788
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△437	10,080
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△887	12,931
税引後その他の包括利益	1,078	11,983
四半期包括利益	11,052	22,579
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	10,049	21,413
非支配持分	1,003	1,166
四半期包括利益	11,052	22,579

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日 残高	25,122	50,636	△6,658	2,653	△9,642	18	42,584
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	1,297	19	669
四半期包括利益合計	—	—	—	—	1,297	19	669
自己株式の取得	—	—	△9,292	—	—	—	—
自己株式の処分	—	12	268	△280	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	256	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△377	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△2,955
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△365	△9,024	△24	—	—	△2,955
2021年9月30日 残高	25,122	50,271	△15,682	2,629	△8,345	37	40,298

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金			
2021年4月1日 残高	△1,395	34,217	280,697	384,016	37,419	421,435
四半期利益	—	—	17,122	17,122	1,417	18,539
その他の包括利益	900	2,886	—	2,886	178	3,065
四半期包括利益合計	900	2,886	17,122	20,008	1,596	21,605
自己株式の取得	—	—	—	△9,292	—	△9,292
自己株式の処分	—	△280	—	0	—	0
配当金	—	—	△6,771	△6,771	△3,697	△10,468
株式に基づく報酬取引	—	256	—	256	—	256
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△377	△976	△1,354
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	3	△2,951	2,951	—	—	—
その他の増減	—	—	13	13	63	76
所有者との取引額合計	3	△2,975	△3,806	△16,171	△4,610	△20,782
2021年9月30日 残高	△491	34,128	294,013	387,853	34,404	422,258

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日 残高	25,122	49,862	△11,828	2,629	2,398	66	40,343
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	7,878	147	4,022
四半期包括利益合計	—	—	—	—	7,878	147	4,022
自己株式の取得	—	△17	△9,789	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△11	24	△13	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	38	—	317	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△579	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△22,649
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△569	△9,765	303	—	—	△22,649
2022年9月30日 残高	25,122	49,293	△21,594	2,933	10,277	213	21,717

	親会社の所有者に帰属する持分					
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分			その他の資本の構成要素		合計
	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計	
2022年4月1日 残高	△215	45,221	299,281	407,660	36,930	444,590
四半期利益	—	—	17,382	17,382	1,435	18,817
その他の包括利益	11,457	23,506	—	23,506	2,336	25,842
四半期包括利益合計	11,457	23,506	17,382	40,888	3,771	44,660
自己株式の取得	—	—	—	△9,807	—	△9,807
自己株式の処分	—	△13	—	0	—	0
配当金	—	—	△6,146	△6,146	△2,444	△8,591
株式に基づく報酬取引	—	317	—	355	—	355
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△579	△756	△1,336
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△3	△22,652	22,652	—	—	—
その他の増減	—	—	7	7	△55	△48
所有者との取引額合計	△3	△22,348	16,514	△16,169	△3,257	△19,427
2022年9月30日 残高	11,237	46,378	333,178	432,379	37,444	469,823

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日清食品ホールディングス株式会社(以下、当社)は日本に所在する株式会社です。当社の登記されている本社及び主要な事業所の住所は、当社のウェブサイト(<https://www.nissin.com/jp/>)で開示しております。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及び子会社(以下、当社グループ)、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。

当社グループの事業内容及び主要な活動は、注記(セグメント情報)に記載しております。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨に関する事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IAS第34号に準拠して作成しております。

なお、本要約四半期連結財務諸表は、2022年11月10日に取締役会によって承認されております。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、単位を百万円としております。また、百万円未満の端数は切捨てて表示しております。

(連結範囲及び持分法適用範囲の重要な変更)

本要約四半期連結財務諸表における連結範囲及び持分法適用範囲は以下を除き、2022年3月31日に終了する連結会計年度に係る連結財務諸表から重要な変更はありません。

当社グループの保有するPremier Foods plcに対する株式投資について、第1四半期連結会計期間に株式を追加取得し、所有持分比率が22.9%となったことにより、同社に対する株式投資について持分法を適用しております。また、当第2四半期連結会計期間に株式を追加取得したことにより、所有持分比率は25.0%となっております。

(重要な会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度において適用した会計方針と同一です。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当第2四半期連結会計期間より、当社グループにおける事業管理区分の見直しにより、従来、「調整額」に含めて記載していた「新規事業」について、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結会計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

当社グループは、持株会社制を採り、国内8事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業、低温・飲料事業、菓子事業を展開し、「日清食品」、「明星食品」、「低温・飲料事業」、「菓子事業」、「米州地域」、「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」、「明星食品」、「米州地域」、「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温・飲料事業」はチルド製品、冷凍製品及び飲料製品を製造販売し、「菓子事業」は菓子製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、(重要な会計方針)における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	98,526	18,694	40,989	34,803	42,418	25,880	261,312	13,724	275,037	—	275,037
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	698	2,551	315	104	12	883	4,565	16,969	21,535	△21,535	—
計	99,224	21,245	41,305	34,907	42,430	26,763	265,878	30,693	296,572	△21,535	275,037
セグメント利益 (営業利益)	15,419	1,714	2,679	2,235	2,177	2,346	26,573	3,063	29,637	△2,800	26,836
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,299
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	267
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27,868
その他の項目											
減価償却費	6,854	1,088	1,201	1,277	573	1,261	12,256	1,738	13,995	19	14,014
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	1,692	1,692	—	1,692
資本的支出	3,866	598	887	2,360	1,371	2,412	11,497	1,631	13,129	△77	13,051

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△2,800百万円には、セグメント間取引消去等△124百万円、グループ関連費用△2,676百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	101,862	19,271	41,589	35,209	66,019	33,330	297,283	19,671	316,954	—	316,954
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	764	2,810	360	224	17	1,152	5,328	19,066	24,395	△24,395	—
計	102,626	22,081	41,950	35,433	66,036	34,482	302,611	38,738	341,349	△24,395	316,954
セグメント利益 (営業利益)	15,051	1,400	1,556	1,264	4,308	3,897	27,480	2,747	30,227	△3,195	27,032
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,651
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	623
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28,059
その他の項目											
減価償却費	6,925	1,109	1,239	1,419	775	1,373	12,842	1,644	14,487	16	14,503
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	1,948	1,948	—	1,948
資本的支出	4,330	624	1,016	835	2,914	1,671	11,393	1,260	12,654	△3	12,650

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△3,195百万円には、セグメント間取引消去等△120百万円、グループ関連費用△3,074百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前第2四半期連結会計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	51,948	9,283	20,773	17,740	22,196	13,633	135,575	7,003	142,579	—	142,579
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	380	1,149	167	53	5	590	2,346	8,074	10,420	△10,420	—
計	52,328	10,432	20,940	17,794	22,202	14,223	137,922	15,078	153,000	△10,420	142,579
セグメント利益 (営業利益)	8,407	712	1,355	1,165	988	1,273	13,902	1,111	15,013	△1,426	13,587
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	403
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	125
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13,864
その他の項目											
減価償却費	3,476	545	597	641	297	688	6,246	866	7,113	8	7,122
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	579	579	—	579
資本的支出	2,548	314	571	202	634	783	5,055	551	5,606	△2	5,604

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,426百万円には、セグメント間取引消去等△88百万円、グループ関連費用△1,338百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	54,071	10,014	21,235	17,647	36,119	17,836	156,924	10,766	167,691	—	167,691
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	348	1,483	181	135	7	609	2,764	9,821	12,586	△12,586	—
計	54,420	11,497	21,416	17,782	36,126	18,445	159,689	20,588	180,278	△12,586	167,691
セグメント利益 (営業利益)	7,337	510	533	472	3,034	2,006	13,895	1,435	15,330	△1,555	13,775
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	615
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	322
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14,067
その他の項目											
減価償却費	3,467	562	643	715	405	700	6,494	809	7,304	10	7,314
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	1,115	1,115	—	1,115
資本的支出	2,340	456	478	486	1,701	1,139	6,603	740	7,343	—	7,343

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,555百万円には、セグメント間取引消去等△18百万円、グループ関連費用△1,537百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。